

福澤諭吉の門下生たちを中心に、
高い取材力を武器として
報道の正確性と速報性を維持し、
他紙とは一線を画した『時事新報』は、
大正という時代をどのように見つめ、
どのように報じたのか。

大正元年七月三〇日〜大正一五年一二月二五日

時事新報

復刻版
大正期



池内輝雄・奈良岡聰智 監修
A3判上製「全29回配本」

取扱店

柏書房

〒113-0033 東京都文京区本郷2-15-13
TEL.03-3830-1891(営業) FAX.03-3830-5337
E-mail : eigyo@kashiwashobo.co.jp
URL : http://www.kashiwashobo.co.jp/

『時事新報』大正期復刻版 刊行予定

配本	刊行年月	収録年月	本体揃	配本	刊行年月	収録年月	本体揃
1	2012年1月	大正元年7月30日~12月	本体250,000円	16	2024年9月	大正9年1~6月	予価250,000円
2	2012年5月	大正2年1~6月	本体250,000円	17	2025年9月	大正9年7~12月	予価250,000円
3	2012年9月	大正2年7~12月	本体250,000円	18	2026年9月	大正10年1~6月	予価250,000円
4	2013年2月	大正3年1~6月	本体250,000円	19	2027年9月	大正10年7~12月	予価250,000円
5	2013年9月	大正3年7~12月	本体250,000円	20	2028年9月	大正11年1~6月	予価250,000円
6	2014年9月	大正4年1~6月	予価250,000円	21	2029年9月	大正11年7~12月	予価250,000円
7	2015年9月	大正4年7~12月	予価250,000円	22	2030年9月	大正12年1~6月	予価250,000円
8	2016年9月	大正5年1~6月	予価250,000円	23	2031年9月	大正12年7~12月	予価250,000円
9	2017年9月	大正5年7~12月	予価250,000円	24	2032年9月	大正13年1~6月	予価250,000円
10	2018年9月	大正6年1~6月	予価250,000円	25	2033年9月	大正13年7~12月	予価250,000円
11	2019年9月	大正6年7~12月	予価250,000円	26	2034年9月	大正14年1~6月	予価250,000円
12	2020年9月	大正7年1~6月	予価250,000円	27	2035年9月	大正14年7~12月	予価250,000円
13	2021年9月	大正7年7~12月	予価250,000円	28	2036年9月	大正15年1~6月	予価250,000円
14	2022年9月	大正8年1~6月	予価250,000円	29	2037年9月	大正15年7~12月25日	予価250,000円
15	2023年9月	大正8年7~12月	予価250,000円				

※第1回配本のみ全5巻。第2回~第29回は全6巻。

お奨めします

近代史/近代政治史/経済史/外交史/社会史/世相史
文学史/文化史/メディア史/公共図書館/大学図書館

『時事新報』大正期の主な連載小説

作者	題名	連載期間 * ()内は回数	作者	題名	連載期間 * ()内は回数
霊鷲山人	氷霜剣	明治45年7月14日~大正元年9月18日 (63)	久米正雄	不死鳥	大正8年11月1日~大正9年4月4日 (156)
佐藤紅緑	谷底	大正2年6月10日~11月14日 (157)	里見淳	今年竹	大正8年6月13日~8月17日 (以下休載)
江見水陸	赤い糸	大正2年11月15日~大正3年2月24日 (100)	上司小剣	花道	大正9年4月5日~9月11日 (160)
佐藤紅緑	嵐	大正3年3月25日~8月16日 (170)	久米正雄	赤光	大正10年3月29日~12月1日 (245)
平塚らいてう	峠	大正4年4月1日~21日 (21)	加能作次郎	幸福へ	大正10年12月2日~大正11年7月8日 (217)
岡本綺堂	妹	大正4年4月29日~9月15日 (140)	里見淳	多情仏心	大正11年12月26日~大正12年12月31日 (299)
岡本綺堂	絵絹	大正5年7月7日~11月8日 (125)	久米正雄	冷火	大正13年1月1日~6月3日 (150)
長田幹彦	虚栄	大正5年11月9日~大正6年5月8日 (177)	三上於菟吉	白鬼	大正13年7月28日~12月31日 (156)
佐藤紅緑	桜の家	大正6年5月9日~10月23日 (168)	藤野汀州	覆面の義人	大正13年10月18日~大正14年5月9日 (177)
久米正雄	蛍草	大正7年3月19日~9月20日 (186)	池谷信三郎	望郷	大正14年1月1日~6月10日 (161)
徳田秋声	路傍の花	大正7年9月21日~大正8年3月13日 (173)	前田曙山	黒髪夜叉	大正14年12月28日~大正15年8月22日 (204)
長田秀雄	明けがた	大正8年3月15日~6月11日 (90)	徳田秋声	道尽きず	大正15年12月8日~昭和2年6月7日 (165)

『時事新報』大正期の主な評論・随筆

作者	題名	掲載	作者	題名	掲載
三木露風	現代文学と芭蕉	大正元年11月21日~25日	島村抱月	歌舞伎一発祥地の為に	大正6年9月22日、23日
相馬御風	文芸の破壊	大正2年1月30日、31日	高村光太郎	岩石の様な性格	大正7年8月4日
武者小路実篤	文芸上に起る運動	大正2年9月5日	佐佐木信綱	朝晴雪に就いて	大正8年1月1日
木村荘八	ロダンに就ての言葉	大正3年3月3日~5日	金田一京助	啄木逝いて七年	大正8年4月12日
佐藤春夫	私の偽らざる告白	大正3年5月9日、10日	志賀直哉	近頃の日常生活(書簡)	大正9年3月19日
坪内逍遙	「霊験」と現実曝露の悲哀	大正3年9月11日、13日	長谷川如是閑	私は素人でいたい	大正9年9月30日~10月3日
野口米次郎	悪魔主義の英文学	大正4年3月17日~19日	上司小剣	芸術は文明から逃げる	大正11年1月6日、7日
吉井勇	鎌倉より祇園へ	大正4年12月1日~3日	西條八十	仏国詩壇の現在	大正11年1月21日、22日、24日
有島生馬	北京を憶ふ	大正5年2月17日、19日、21日~24日	長田秀雄	大震噴望	大正12年10月2日、3日
木下幸太郎	現代の歴史小説	大正5年3月23日、24日	林政雄	所謂プロ文学の滅亡	大正12年11月2日、3日
斎藤茂吉	長詩は何故発達せぬ乎	大正5年6月16日、17日	川端康成	冒険的未来	大正13年1月13日
堀口大学	門外漢の観たる仏国文壇	大正6年2月3日、6日	志賀直哉	雨蛙に就いて	大正13年1月25日~27日
生方敏郎	人の値打を計る事	大正6年2月14日、15日、17日、20日	正宗白鳥	文学への私の修業	大正13年9月6日、7日、9日~14日
芥川龍之介	私の踏んで来た道—「羅生門」の後に	大正6年5月5日	岸田國士	横槍一本—外国文学の味	大正14年3月3日~6日
有島武郎	アッシジの秋	大正6年8月19日、21日~25日	田山花袋	作者の心の火	大正15年4月29日~5月1日

独立不羈・不偏不党を掲げて政府や政治に距離を置き、 中立的言論をもって批判精神を貫いた日本一の新聞！

第一次世界大戦後の大正9年3月に株式市場が暴落(戦後恐慌の始まり)。翌4月も米・生糸・綿糸の商品市場が低落し、中小小工業者の破産が相次いだ(大正9年3月16日付)。

時事新報 日一月六

大正7年6月1日より夕刊の発行開始。

○捕虜二萬五千人
○佛軍チロア奪還
○獨軍進撃止まる
○澳國內騒擾起る
○トルチヤク落延
○支那事情
○曹錕氏天津歸着
○總理使者來着す
○日支軍事協定成立す



『時事新報』は広告を重視し、一面は明治20年(1887)1月1日より全面広告に。ライバル紙の『東京日日新聞』は明治29年6月、『東京朝日新聞』は明治38年1月から一面を広告頁とした。

時事新報略史

福澤諭吉が創刊した日刊新聞。明治15年(1883)3月1日創刊。初めは慶應義塾出版社、明治17年4月22日より時事新報社発行となる。創刊当時、他紙のほとんどは政党政派の機関紙か系列紙化していたが、『時事新報』だけが不偏不党・独立不羈の立場を唱えて他紙とは一線を画し、福澤の名声もあって東京の有力紙へと発展する。特に明治中期から大正前半期にかけては編集・経営の両面で日本の新聞界をリードし、「日本一の時事新報」と呼ばれて、東京五大新聞(ほかに『東京日日新聞』・『報知新聞』・『国民新聞』・『東京朝日新聞』の4紙)の一角を占めた。その一方で、明治38年3月に大阪へ進出し『大阪時事新報』を発刊するも失敗して経営を圧迫するようになり、さらに大正12年(1923)9月1日の関東大震災による社屋罹災や他紙との販売競争の激化による経費増などで、経営は急速に悪化していく。結局、昭和11年(1936)12月25日をもって『時事新報』は廃刊し、題号は『東京日日新聞』へと引き取られた。第2次世界大戦後の昭和21年1月1日に復刊を果たしたが、同30年10月31日限りで『産業経済新聞』と合同して『産経時事』と改題し、幕を閉じた。【参考『国史大辞典』『時事新報』の項】

緊急社告
本紙非賣に關する顛末

四月十五日、新聞賣店主の一派より成る定價賣即行會なるものが、昨年末、或者の後援に依りて合法なる總ての手段に依り、急遽賣店主の利益を擧げ、新聞紙の配達を全うする爲に、公衆の一般に對する事情を考慮し、新聞紙の正統な流通を確保するに於て必要なりと信じ、左に非賣なる無法千萬の策を講じたる定價賣即行會なるものは、昨年末、或者の後援に依りて試みて却つて失敗したるに墮し、今亦、本紙が千葉縣佐倉町の一角地に於て定價賣に對し非賣の口を擧げ、強いて協力を破壞して非賣を行へるものには有之候。而して即行會の一派が、各地賣店に對し、時事新報紙を非賣したる代用紙として、東京日日新聞紙並に東京日日新聞紙の配達を妨げ、あるの事實に依り、即行會此行為を背後より後援する者の何れなるや、讀者の如きは、此危險懸殊なる挑戦に對し敢然起つて、我々は天下の公器たる新聞紙に對する、此危險懸殊なる挑戦に對し敢然起つて、下讀者の判に訴へんとするに次第に有之候。此危險に入るに際し、事實の真相を略記して並に、大正十五年四月十六日

時事新報

飲血ポピナイン
婦人病、肺病、結核患者、大病に罹る、體力を増進し、無二の滋養劑

大正三年創刊
大正十年創刊

募集

THE JIJI SHIMPO

EMF

ハーボドウス

株大混亂
米價如何
米價は如何
米價は如何

緊急社告
本紙非賣に關する顛末

緊急救告
本紙非賣に關する顛末

四月十五日、新聞賣店主の一派より成る定價賣即行會なるものが、昨年末、或者の後援に依りて合法なる總ての手段に依り、急遽賣店主の利益を擧げ、新聞紙の配達を全うする爲に、公衆の一般に對する事情を考慮し、新聞紙の正統な流通を確保するに於て必要なりと信じ、左に非賣なる無法千萬の策を講じたる定價賣即行會なるものは、昨年末、或者の後援に依りて試みて却つて失敗したるに墮し、今亦、本紙が千葉縣佐倉町の一角地に於て定價賣に對し非賣の口を擧げ、強いて協力を破壞して非賣を行へるものには有之候。而して即行會の一派が、各地賣店に對し、時事新報紙を非賣したる代用紙として、東京日日新聞紙並に東京日日新聞紙の配達を妨げ、あるの事實に依り、即行會此行為を背後より後援する者の何れなるや、讀者の如きは、此危險懸殊なる挑戦に對し敢然起つて、我々は天下の公器たる新聞紙に對する、此危險懸殊なる挑戦に對し敢然起つて、下讀者の判に訴へんとするに次第に有之候。此危險に入るに際し、事實の真相を略記して並に、大正十五年四月十六日

時事新報

飲血ポピナイン
婦人病、肺病、結核患者、大病に罹る、體力を増進し、無二の滋養劑

大正三年創刊
大正十年創刊

募集

THE JIJI SHIMPO

EMF

ハーボドウス

相場暴落と前途
一池田三三氏談
一金融恐慌の前途
一米價如何
一米價は如何
一米價は如何

緊急社告
本紙非賣に關する顛末

時事新報

日英同盟に代る可き
四國協定成立
四國代表調印す可し

日英米佛四國協定の経緯
米國の推唱に基く英國は最初反對—フリアン氏日本支持を言明す

駐支軍制度廢止
法權撤去調査委員

北澤楽天の「時事漫画」は漫画ジャーナリズムの歴史に大きな足跡を残した。

大正10年12月1日付の夕刊で、ワシントン会議において日英同盟を廢し、四ヶ国条約を締結する旨の世界的スクープを特報。